

私が守りたいもの・・・家族
 平和な世界：戦争のない世の中 (関市 ふくちゃんさん)

戦争ができる国になるのか、しない国を貫き通すのか。戦後70年間平和だった日本が分岐点に立っています。毎日家族で食卓を囲めるあたり前の幸せがずっと続くように、「コープぎふでは「台所から平和をー」をスローガンに、平和の取り組みを行っています。次の世代に平和を引き継ぐために、私たちは、今起きていることを知り、行動するときにきています。



今年5月、ニューヨークでNPT再検討会議が行われました。NPT (Treaty on the Non-Proliferation of Nuclear Weapons)とは、2014年現在、190カ国が締結している核不拡散条約です。条約では核軍縮などを目的に、アメリカ、ロシア、イギリス、フランス、中国以外の核兵器の保有を禁止しています。生協は平和活動の中で「核兵器のない平和な世界の実現」のため、NPT再検討会議開催に合わせて代表団を現地に派遣し、岐阜県原爆被爆者の会の代表者と共に被爆の実相と核兵器廃絶を訴えてきました。



「NO NUKES」のフラッグを掲げ、平和をアピールする行進を敢行



平和な世界を目指すために、街ゆく人々への声掛けも行いました



被爆者から被爆体験を聞く、現地の高校生たち

コープぎふ平和憲章

コープぎふでは、組合員の皆さんから寄せられた平和のメッセージをもとに、組合員さんで構成する平和憲章実行委員会で検討を重ね、皆が思いを同じくして平和の取り組みに関わっていただけるよう「コープぎふ平和憲章」をつくりました。6月に行なわれた第17回通常総代会で特別アピールとして、採択されました。

私たちは「台所から平和をー」を願い、命を守る平和の活動を進めます。

- 一 私たちは、一人ひとりの命を大切にします。
 - 一 私たちは、子どもたちの笑顔を守ります。
 - 一 私たちは、笑顔で食事ができるくらいしを大切にします。
 - 一 私たちは、お互いを認め合い助けあう心を大切にします。
 - 一 私たちは、戦争の歴史を振り返り、真実を学んで伝えていきます。
 - 一 私たちは、ヒロシマ・ナガサキを忘れず、核兵器廃絶を願います。
- この平和憲章のもと、一人ひとりが考え、行動へつながっていきます。

組合員さんの『私の平和宣言』

戦時中、伯父が21歳の若さで戦死しました。祖父、伯父の死後、仏壇の奥から白い布に包まれて、戦地からの伯父の自筆の葉書3枚が出てきました。美しい字、知性のある文面、家族を思いやる遠い遠い戦地からの生々しい便りに触れて、妹と2人、涙を流しました。その手紙は、今も私のそばにあります。21歳でこの世を去った無念の思い、死ぬために戦地へ行かされた不条理さ。わが子が戦地に散ったときの祖父、母の深い悲しみを、私たちは何も知らず平和に幸せに生きてきました。その悲しみの上に、いまの私たちの幸せがあるのです。平和な世界とは、戦争をしないこと。世界中の戦争をなくすことです。

(高山市 ふたちゃんさん)



本棚を整理していたら、レイモンド・ブリックズ作「風が吹くとき」(あすなろ書房)が目につきました。原子力発電賛成の方、政治家の方にぜひ読んでもらいたいと思います。(富加町 ガキさん)

戦争は絶対にならない。参加もしない。(岐阜市 せいがめさん)



今西祐行作「すみれ島」(偕成社)を子どもが借りてきました。「飛行機の燃料が片道分しか入っていないで、死んでこいっていう意味なんだよ」と教えたなら、それって、自殺してこいってこと?と...子どもは「そんなの絶対嫌だ!」と言いました。親も嫌です。(羽島市 あつくんママさん)

子どもたちが、子どもらしく笑ってられること。何よりも守るべき宝物。(安八町 K.Fさん)

朝起きて1日が過ぎ、お風呂に入り、床に就く。なんてことないこの平凡な日々が続くことこそ平和なのだと思います。世界の誰もが、そんな日々を過ごせたらと思います。(郡上市 どんぼこさん)

「戦争」に少しずつ近づいていつているような、今の日本。おなかの赤ちゃんの性別が「男の子」と分かったとき、とても怖くなりドキドキが止まりませんでした。絶対に絶対に、戦争は嫌です。私は兵隊に出すために、男の子を産むんじゃない!(本巣市 糸馬弓さん)

誰かを羨むことをしない。自分がいわれたり、されて嫌なことは人にもしない。人と人とのつながりが、国を越えていけるといいですね。(岐阜市 今川さん)

日本を「戦争するかもしれない国」にしない。日本は戦わない国として信頼を得てきたのに、戦える国にする準備を待たずして、その信頼を失いそうなのが怖いです。(瑞浪市 CHACHAさん)

亡くなった祖父が、ニュースで今の安保論争を見ていたら、怒っていたらうな...。戦争経験者の祖父からは、怖い話をたくさん聞きました。小さいころは耳をふさぎたい思いもありましたが、今思えば平和教育だったのだと思います。家族が元気で健康であることが、私の平和宣言です。(岐阜市 じゅりあーにさん)

戦争をさせない。家族を守りたい。私たちの父や母が苦しんだ戦争。絶対にこれからの日本にあってはならない戦争。今の平和な日々を、次の世代へつなげていかなければならないと思います。(可児市 はらんぼさん)

大切なのは、過去に起きた事実を知ること。忘れないこと。戦争を体験した苦しみに関心をもち、亡くなった方、家族を亡くした方の気持ちを理解する努力をしていきたい。(各務原市 ぱうりんさん)

子どもたちに残したい、平和な日本。70年間守り続けたものを、これからも変えることなく。(岐阜市 なつっさん)

平和カンパのご協力をお願いします。

平和のさまざまな取り組みは、組合員の皆さんの平和カンパをもとに行っています。平和を願う気持ちをぜひ、「平和カンパ」というカタチにしてご協力下さい。平和カンパはOCR注文書(e-フレンズ)、または店舗募金箱で行っています。



少年少女ヒロシマの旅 毎年春休み、子どもたちがヒロシマを訪れ、平和の大切さを学びます。



戦争体験聞き書き集 組合員さんが戦争を体験された方に当時の様子を聞き、その内容を文字にして後世に伝える冊子です。戦争体験聞き書き集第9集 一冊:220円 送料:組合員さんは無料

OCR注文書(e-フレンズ)からの平和カンパ

募金の口数	注文番号
一口 50円	3954
一口 100円	3983
一口 500円	3955
一口 1,000円	3984

お問い合わせ先:コープぎふ ぐらしの活動部 TEL058-370-6873

